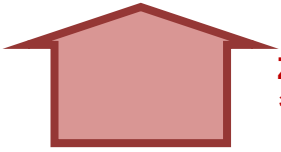
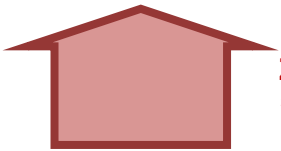


省エネ住宅で節約できる年間の光熱費

● 試算例① (小売事業者表示制度のエネルギー単価 (2017～19年度の平均) を用いた場合)

	北海道札幌市等	東京都23区等
 今の省エネ住宅 (省エネ基準)	年 346,000円	年 239,000円
	年 ▲96,000円	年 ▲46,000円
 ZEH水準の 省エネ住宅	年 250,000円	年 193,000円

● 試算例② (最近のエネルギー価格の値上がり等を踏まえて設定した単価を用いた場合)

	北海道札幌市等	東京都23区等
 今の省エネ住宅 (省エネ基準)	年 396,000円	年 277,000円
	年 ▲107,000円	年 ▲53,000円
 ZEH水準の 省エネ住宅	年 289,000円	年 224,000円

※WEBプログラムにより算定した二次エネルギー削減量に、下記の単価等に乗じて算出。

試算例①：小売事業者表示制度 (2021年3月とりまとめ) の単価(2017～2019年度のデータを元に算出)を活用。

電気料金単価(27円/kWh)、都市ガス単価(156円/m³)、換算係数(46.05MJ/m³)、灯油単価(88 円/L)

試算例②：小売事業者表示制度の単価設定方法を参考に、直近の活用可能な統計データを用いて単価を設定。

電気料金単価(31円/kWh、経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会「電力取引の状況」より、R3.10～R4.9の平均を算出)、都市ガス単価(184円/m³、東京ガス・大阪ガスの料金等を踏まえ、R4.1～12の平均を算出)、換算係数(46.05MJ/m³)、灯油単価(101 円/L、環境省「家庭部門のCO2排出実態統計調査」より、令和3年度の平均(全国)を算出)

※住宅の仕様は、「木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック(省エネ基準編)」、「木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック(誘導基準編)」等を元に設定。

住宅の断熱化による健康への好影響(全国調査の結果)

健康診断結果

居間の室温で結果に差が



<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34641787/>
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35570002/>

生活の質

温暖な住環境等で 心身が満たされた生活に

温度、騒音、照度、衛生、安全、防犯に問題がない住環境の人々は、QOL（生活の質）が高いことがわかっています。



<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33739475>

睡眠の質

暖かい寝室では 睡眠の質が向上

寝室が暖かく、乾燥していない住宅では、睡眠の質が向上することがわかっています。

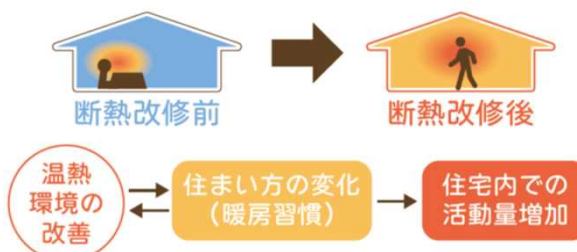


<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34916715/>

住宅内活動時間

居間や脱衣所の室温が上昇すると 住宅内での活動が活発に

コタツが不要となる等で、住宅内の1日の身体活動時間が最大で約50分増加する可能性があります。



https://jsbc.or.jp/seminar/files/220218_event.pdf

子供の疾病

床近傍室温が16.1℃以上の住宅では 喘息の子供が半分



https://jsbc.or.jp/seminar/files/220218_event.pdf

入浴方法

入浴事故リスクが低減 “熱め入浴”が少なくなります

居間や脱衣所の室温が18℃未満の住宅では、入浴事故リスクが高いとされる“熱め入浴（42℃以上）”が約1.7倍にのぼります。



https://jsbc.or.jp/seminar/files/220218_event.pdf